

令和4年度 年間指導計画

教科・科目	国語・古典研究	学年	3年	教科書	なし
		単位数	2	副教材	桐原書店「新装版 ニューグレード古文 読解Ⅱ」 数研出版「八訂版読解をたいせつにする体系古典文法」 数研出版「三訂版読解をたいせつにする体系古典文法準拠ノート」

学習目標	古典を読むことによって、日本の伝統と文化に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。								
学習方法	○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。 ○ 授業においては演習ワークブックを利用し、演習を中心に授業をすすめます。 ○ 課題を定期的に提出したり、発表をしたりします。最後まであきらめずに取り組みましょう。								
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>評価の観点</th> <th>科目の評価の観点の趣旨</th> </tr> <tr> <td>a 関心・意欲・態度</td> <td>言語文化や伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しもうとする。</td> </tr> <tr> <td>b 読む能力</td> <td>古典の内容や形態に応じた表現の特色から思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え古典に親しむ。</td> </tr> <tr> <td>c 知識・理解</td> <td>古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。</td> </tr> </table>	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨	a 関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しもうとする。	b 読む能力	古典の内容や形態に応じた表現の特色から思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え古典に親しむ。	c 知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨							
	a 関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しもうとする。							
	b 読む能力	古典の内容や形態に応じた表現の特色から思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え古典に親しむ。							
c 知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。								

学期	時間数	指導事項	単元の評価規準	評価方法	主な学習活動	単元(題材)
前期	10	知識・理解 ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 読むこと イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。	a: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解しようとしている。 b: 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 b: 人間に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 b: 内容を理解して読み味わっている。 c: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。	・ 観察 ・ 課題の提出 ・ 定期考査 ・ 小テスト等 ・ 授業内演習	○ 語句の意味や特色、由来などについて調べたことを報告する。  ○ 古文を味わいながら音読、朗読、暗唱を行う。	○ 文法事項の復習(主として動詞、形容詞、形容動詞)  ○ 文章読解
	10	知識・理解 ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 読むこと イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。	a: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解しようとしている。 b: 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 b: 社会に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 b: 内容を理解して読み味わっている。 c: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。		○ 語句の意味や特色、由来などについて調べたことを報告する。  ○ 古典を題材とした映像メディア作品を鑑賞し、古典常識を踏まえて論評する。	○ 文法事項の復習(主として助動詞)  ○ 文章読解
	8	知識・理解 ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 読むこと ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	a: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解しようとしている。 a: 内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。 b: 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 b: 自然に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 b: 内容や表現の特色を理解して読み味わっている。 c: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。		○ 取り組んだ問題文の内容を現代語で簡潔にまとめる。  ○ 古典に描かれた人物、情景、心情について、感じたことや考えたことを文章にまとめる。	○ 文法事項の演習(主として助動詞・助詞・敬語)  ○ 文章読解
後期	9	読むこと ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 知識・理解 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わうこと。	a: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解しようとしている。 a: 内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。 b: 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 b: 自然に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 b: 内容や表現の特色を理解して読み味わっている。 c: 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。		○ 取り組んだ問題文の内容を現代語で簡潔にまとめる。  ○ 古典に描かれた人物、情景、心情について、感じたことや考えたことを文章にまとめる。	○ 文法事項の演習(主として助動詞・助詞・敬語) ○ 文章読解
	27	知識・理解 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わうこと。 読むこと エ 作品の価値について考察すること。	a: 日本の文化の特質について理解を深めようとしている。 a: 内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。 b: 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 b: 内容や表現の特色を理解して読み味わうこと、作品の価値について考察している。 c: 日本の文化の特質について理解を深めている。		○ 取り組んだ問題文の内容を現代語で簡潔にまとめる。  ○ 古文を味わいながら和歌を暗唱し、助動詞の識別を理解する。	○ 文法事項の演習(主として助動詞・助詞・敬語) ○ 和歌の修辭法 ○ 文章読解
計	64					